

読解力の向上について

3年生が「リテラス論理言語力検定」を受験します。(12月6日)

これから子どもたちが身に付けるべき重要な資質に「読解力の向上」があります。これは文学作品の人物の心情を読み取るといった力だけではなく、①情報を探し出す。②理解する。③評価し、熟考する。という力の向上です。

例えば、①は、必要な情報がどのWEBサイトに記載されているか、推測し探し出す力であり、③は、その情報が正しいかどうかを自分で判断し、自分ならどう対処するか考える力です。

スマートフォンが普及し、SNSに接することが日常となっています。大変便利なものですが、一方で、誤った情報が発信、拡散され、トラブルに発展することもあります。生徒たちには、ぜひ物事を批判的（悪い意味ではなく）にとらえ、正しく判断する力を身に付けてほしいと思います。

そこで、四日市市では、中3を対象に「リテラス論理言語力検定」を毎年実施します。これは、これからの社会に求められる資質・能力を「語彙運用能力」「情報活用能力」「社会理解力」の3つの領域で測定し、中学校卒業後の資格取得への意欲醸成や将来への展望につなげること等をねらいとしています。

学校ではこれらの力を学校の教育活動全般で身に付けられるよう取り組みます。

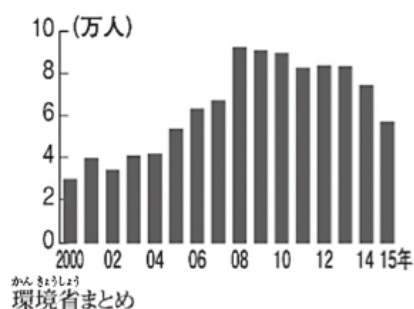
【こんな問題が出題されます】

- 次の資料は、世界遺産に登録されている屋久島の観光のうち、縄文杉への登山者数の推移について述べたものです。これを読んで後の問いに答えなさい。

縄文杉への登山者数は、2000年に約 程度であったが、その後 、2008年には約9万人を記録した。その後も7万～8万人台で横ばいが続いていたが、2015年に約5万7千人にまで急減した。登山者数が最も多かった2008年に比べ、約4割減少していることがわかる。

(朝日新聞2016年2月26日の記事より作成)

図表 縄文杉登山 入山者数の推移



- 問1 空欄Xに当てはまる数値として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選びなさい。(5点)
- ① 3千人 ② 9千人 ③ 3万人 ④ 6万人 []

- 問2 空欄Yに入る内容として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選びなさい。(10点)
- ① 減少を続け ② 増加傾向が続く ③ 横ばいが続き ④ わずかに増加し
- []

- 問3 図表の傾向から、どのようなことがわかりますか。最も適当なものを、①～④のうちから一つ選びなさい。(15点)
- ① 屋久島観光の人気の近年下がってきているということ。
- ② 縄文杉登山者数は10万人突破を目標にしているということ。
- ③ 縄文杉登山者数を制限しなければならないということ。
- ④ 屋久島を見習えば、ほかでも世界遺産登録が可能だということ。

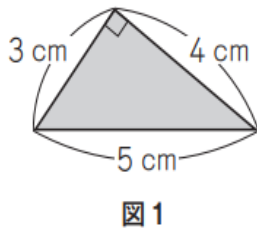
解答は裏面にあります。

生徒のみなさんへ 「わかる」と「できる」について

昔々、私が中学生だったころ、教科書を読み、先生の説明を聞いて、「わかった！」と思ったのに、実際、テストを受けてみると「できない…(涙)」ことが多くあって、「わかったこと」と「できること」は違うのか…」と悲しくなったことを思い出します。

さて、今年度の全国学力・学習状況調査の小学校算数に次の問題がありました。

図1のような直角三角形があります。



- (1) 図1の直角三角形の面積は何 cm^2 ですか。
求める式と答えを書きましょう。

正解は 6 cm^2 です。あなたはできましたか？

日本中の小学6年生が5月にこの問題を解いた結果、正解した人は全体の55.4%でした。「こんなにできないのか!？」と教育関係者には少し衝撃的でした。

三角形の面積の公式がわからないのではなく、図形がひっくり返っていて、高さをどれにするのかがわからなかったようです。つまり、少し問題が変わるだけで、「こんな問題はやったことがない」と思い、今までに身に付けた知識が使えなくなってしまうということです。

数値や場面が変わっても、「これは前にやったことが使えそうだな」とわかるためには、いろいろな問題を解くという経験が必要です。経験、つまり練習問題をたくさん解くことで、知識を定着させることが大切です。

また、ある大学の先生がこんなことを言っています。

脳への入力(覚える)は「わかった」と思うのに、脳から出力する(思い出す)ときは「あれ?」って出てこない。つまり、「出力」するためには、普段から「思い出す」訓練をすることが大事です。

記憶を定着させるためには、教科書や参考書を何回も読んだり、ノートにまとめるだけではダメで、読んだこと(記憶したこと)を思い出すこと(問題を解くこと)が大切だということです。

先週、期末テストが終わって、テスト返しが始まっていることと思います。期待通りの点数だった人も、残念な結果だった人も、何ができなかったのかを反省するとともに、ぜひ、勉強方法についても振り返ってみてください。

特に、3年生のみなさんは、いよいよ入試が近づいてきました。受験勉強は大変ですが、自分が来年4月にいたい場所(学校)をめざし、目標を達成して喜んでいる自分を想像して、がんばってください。

例えば、英単語を何度も覚え直すよりも、確認テストをしてみる(単語を隠して答える)ことが大切だということです。
また、他の人にわかったことを説明することも良いことです。



【解答】

問1 ③ 問2 ② 問3 ①